

吐物処理の際は 以下のご準備を。



- ①マスク
- ②ビニール手袋
- ③バケツ
- ④キッチン泡ハイター（塩素系）
- ⑤キッチンペーパー（新聞紙）
- ⑥ごみ袋

※流行期には1つにまとめたり置き場所を確認しておきましょう

感染を拡大させないために
しっかり処理をしましょう。



公益社団法人神奈川県看護協会

【手順】



1. 自分の身を守る

マスク・ビニール手袋を着用
窓を開ける（換気をする）

2. 処理する（乾燥によるウイルスの舞い上がりを防ぐ）

吐物にキッチンペーパーをかぶせて泡ハイターをかける
キッチンペーパーを吐物の外側方向から中心に向けて集める

3. 消毒する

吐物のあった場所に泡ハイターをかけ、拭き取る

4. 拭き取り

泡ハイターをかけた部分を水拭きする

注意事項

- ・ 空気中にウイルスが舞っているため吸入しないようにしてください
- ・ アルコール消毒は効果がありません
- ・ 洋服等に付着した場合は85℃以上の熱湯に90秒以上浸けてください
(塩素系ハイターだと脱色してしまいます)
- ・ 排泄物からの感染も考えられるためトイレ後の手洗いを十分に行ってください
- ・ トイレのドアノブなども塩素系ハイターで拭き取り後、水拭きしてください
- ・ 片付けた部分にドライヤーを当てないでください
(ウイルスが空気中に舞ってしまいます)
- ・ 最後に石鹸でしっかり手洗いをしてください

